

観音川流域治水協議会

ご存じですか？

そなえる

ためる

にげる

○観音川流域治水協議会の目的

気候変動の影響により近年の雨の降り方は変化し、短時間強雨による「過去に例のない雨量」や「想定外の雨量」による災害が毎年のように発生しています。

このことから、観音川の短時間強雨による氾濫をできるだけ防ぎ、被害を減少・軽減させるため、観音川流域内の集落（15区）、企業・団体（3事業所・12団体）、行政機関（5機関）が、現状や想定被害などの情報を共有し、それぞれが可能な対策について地域で考える場として令和6年7月31日に観音川流域治水協議会が610

○活動の様子

※観音川流域：降った雨が観音川に集まる区域



〔田んぼダム勉強会〕

田んぼダムの仕組みや効果について理解を深めるとともに、実施に係る費用や日常の維持管理について意見交換を行いました。

〔現地視察〕

流域治水に取り組む準備として、流域内の課題となる箇所や治水対策に活用できそうな箇所の視察を行いました。

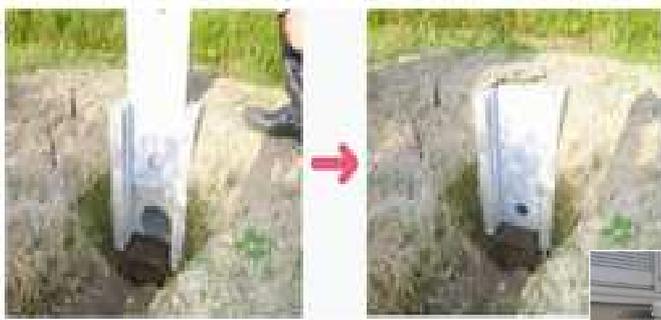


流域治水って？

河川流域全体のあらゆる関係者が協働し、水害を軽減させる治水対策を3つの観点で行います。

ためる

☆川への流入を少しでも遅らせる
田んぼダム



校庭・公園貯留



貯留タンクの設置

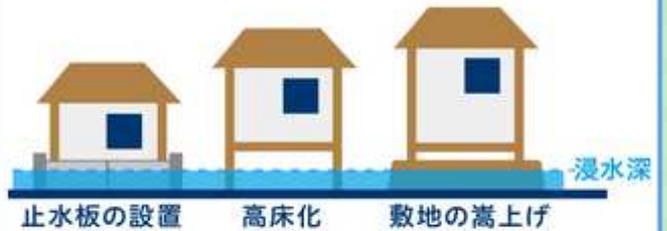


そなえる

住まい方の工夫

住宅の水害対策を行う

☆川が溢れても家の浸水は防ぐ



にげる

☆河川カメラ等で川の状況を把握し（情報収集）、早めに避難する

あわら市ハザードマップ

河川カメラ等

